

## ホールクroppサイレージ用イネ栽培で雑草を抑える対策

### 【成果概要】

#### 【深水管理と栽植密度で除草効果アップ！】

ホールクroppサイレージ（WCS）用イネの直播栽培では、使用できる除草剤に限られるため雑草が増加しやすくなりますが、移植栽培に切り替えると、限られた除草剤の使用であっても、生育初期からの深水管理などで、雑草種子を2年目から減少させることができます。移植栽培では、深水管理を行うとともに栽植密度を高めると、効果的に雑草を抑えることができます。

#### 【おすすめ！移植切り替え後の効率的な雑草防除体系】

管理 (雑草の発生状況)	移植栽培切り替え後の年数		
	初年目	2年目	3年目
水管理	深水	深水	深水
栽植密度	25株/m <sup>2</sup> 程度	18株/m <sup>2</sup> 程度	18株/m <sup>2</sup> 程度
除草剤 (レゾ主体の場合)	初中期一発剤	初期剤(+中期剤)	初期剤(+中期剤)
	(レゾ以外の雑草が主体の場合)	初期剤+中期剤	初期剤+中期剤

深水管理は移植後～移植25日まで水深11cm～13cm程度で実施します。

### 【具体的なデータ】

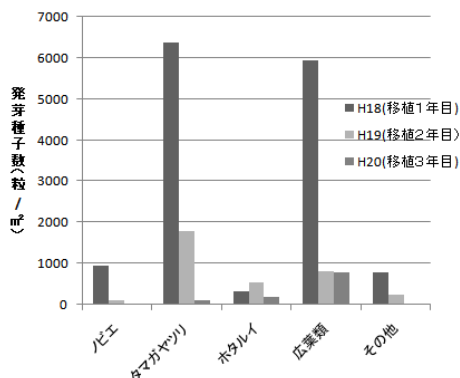


図1 直播から移植に切り替えた際の雑草種子数の変化

- 注1) 試験ほ場は H13～H17 まで 5 年間直播栽培。  
 注2) 耕起前の土壌をワグネルポットに詰め、雑草を出芽させ、出芽した個体の抜き取りと繰り返しを繰り返して発芽した種子数を m<sup>2</sup> 本数に換算して算出した。  
 注3) 使用した除草剤は  
 H18 ベンゾアゾノリル・ベンゾカブ・メチアセト粒剤  
 H19 プレチカドール粒剤+ベンゾカブ液剤  
 H20 林サカドール・カメロップ・ベンゾアゾノリル水和剤

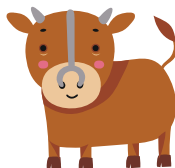


図1を見てみよう。移植栽培にすると雑草の種子数は2年目から大きく減少するね。雑草防除は移植栽培に切り替えた初年目の対策が大事なね。

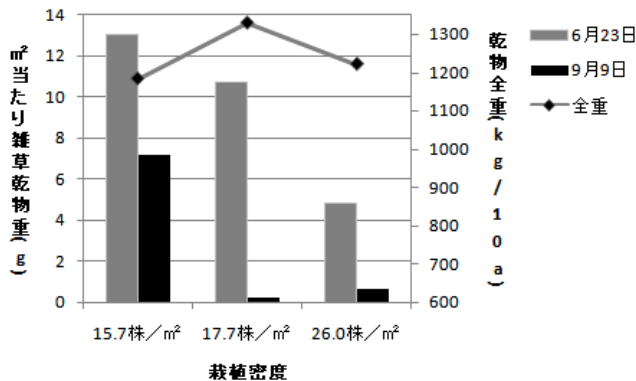


図2 深水管理+栽植密度の違いによる雑草への影響と乾物全重

- 1 深水管理は移植後～移植25日まで水深11cm～13cm程度で実施。除草剤はプレチカドール粒剤+ベンゾカブ液剤を使用した。  
 2 残草の大部分はイネ類である。



図2では深水管理で栽植密度を高めると雑草を効率よく抑えられることがわかるわね。でも収量は17.7株/m<sup>2</sup>植えのほうがとれるのね。

### 【留意事項】

- (1) この技術はホールクroppサイレージ用イネ栽培での利用に限ります。
- (2) 中生品種「もち美人」を使用しています。
- (3) オモダカやクログワイなどの多年生雑草については未検討です。